

「越前蟹と水仙の文学コンクール」入賞者大賞作品

テーマ
未来

令和3年度 越前 蟹と水仙の文学コンクールにおいて、詩部門に587編、俳句部門に3224句の作品が寄せられ、両部門の54人の受賞者が決定しました。表彰式は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、開催を中止としました。

俳句部門（小学生の部）

大賞

萩野小学校 三年 竹澤 由夏
「すいせんが
しんかんせんのにのっているよ」

奨励賞

朝日小学校 五年 金巻 航志
朝日小学校 二年 西端 柁音
平泉寺小学校 六年 牧下 空桜
萩野小学校 六年 山岸 久夏
朝日小学校 五年 木本 心太

佳作

奨励賞

四ヶ浦小学校 一年 神崎 圭士郎
四ヶ浦小学校 三年 濱野 綾香

佳作

朝日小学校 六年 赤松 海音
朝日小学校 六年 富山 七花
宮崎小学校 六年 佐々木 凜音

詩部門（中学生の部）

大賞

社中学校 二年 古木 舜也
水仙はなんで白いの？

「おばあちゃん、水仙って何で白いの？」
そう聞くと、
「きつと、みんなが真つ白なきれいな心で
いてほしい。だから白いんだと思うよ」
と言っていた
小さい頃の僕はおばあちゃんの持っていた、
花図鑑にみとれていた
どの花も美しく咲いていた。とくに水仙は、
夜空にきらめく星のようだった。
その時の僕は、
「僕も心のきれいな大人になりたいな」と、
おばあちゃんは、「絶対いい大人になるわ」
と言ってくれたのを覚えている。
今の僕はまだヤンチャな子供だけど
いい大人にならなくちゃと久々に思った。

俳句部門（中学生の部）

大賞

織田中学校 二年 佐々木 大悟
「水仙の見下ろす先に永遠の海」

奨励賞

織田中学校 二年 駒野 翔太
宮崎中学校 二年 佐々木 結愛
織田中学校 三年 杉森 詩音
宮崎中学校 三年 野崎 慶太
織田中学校 一年 駒野 椿季

佳作

俳句部門（高校生の部）

大賞

丹生高等学校 一年 山内 彩未佳
「水仙の視線の先に水平線」

奨励賞

丹生高等学校 三年 杉本 蒼空
丹生高等学校 三年 伊部 あさか

佳作

丹生高等学校 一年 村中 結羽
丹生高等学校 二年 近藤 美結
鯖江高等学校 二年 庭本 希星

俳句部門（一般の部）

大賞

愛媛県新居浜市 菅 貴久代
「水平の海垂直の野水仙」

奨励賞

滋賀県高島市 駒野 英明
福井県敦賀市 石田 徹

佳作

熊本県熊本市 園田 浩
神奈川県厚木市 北村 純一
大阪府箕面市 松浦 宣子

詩部門（小学生の部）

大賞

朝日小学校 六年 高野 仁瑚
立派なカニ

お父さんが立派なカニを買ってきた
そのカニの立派なところは
大きな手 するどいハサミ
希望が見えるクリクリした目
コロナ禍で栃木のじいちゃんばあちゃんの
所に会いにいけないので 代わりに
立派なカニに会いに行ってもらった
カニはたくさん卵を産むらしい
私はカニについている卵の数ぐらい
たくさんさんの想いを立派なカニに届けて
もらった
我慢する気持ち 家族の存在のありがたさ
一人ひとりの命の大切さ
私は勇気がもたらえた
なぜならそのカニは始めから立派だったの
ではなく、たくさんさんの困難を乗り越えて
立派になったと思ったから
私も先が見えないコロナ禍でも
平和な未来がおとずれるまで
夢に向かってつき進む
栃木のじいちゃんばあちゃんに、
あの立派なカニのようにになった
自分を見せるために

奨励賞

星光学院中学校 二年 平 瑛祥
社中学校 二年 小林 優太

佳作

星光学院中学校 二年 谷口 侑生
社中学校 二年 北村 汐羅
社中学校 二年 鴨志田 結依
星光学院中学校 二年 雪定 健汰

詩部門（高校生の部）

佳作

丹生高等学校 二年 小嶋 茜
伊丹北高等学校 二年 徳田 樹希

詩部門（一般の部）

大賞

愛知県一宮市 大江 豊
バス停
みんなで
やって来た
曇り空から
ひとりになれるように
一葉の写真が引き出されて
何処か 遠くの方から
やって来た あれは
父方の方であらう
バス停と言っても

佳作

東京都目黒区 宮田 直樹
千葉県市川市 山本 明
福井県福井市 中川 嵩登

越前町商工会長賞

朝日小学校 二年 青山 詩
県立盲学校中学部 三年 小林 和義
丹生高等学校 三年 吉田 光志

福井県農業協同組合長賞

糸生小学校 五年 富山 映
社中学校 二年 宮崎 遥名

越前町漁業協同組合長賞

俳句部門（一般の部）

福井県福井市 岡本 照子
福井県小浜市 竹原 悦子

越前町観光連盟会長賞

俳句部門（一般の部）

東京都練馬区 小林 和子
詩部門（一般の部）
福井県勝山市 柎 あずさ

問合せ先 生涯学習課 ☎34-2000